

あれこれ通信

しぶやとみこの議会報告

No. 32

2002年3月25日

渋谷とみ子の会 埼玉県比企郡嵐山町平沢254-64

Tel 0493-62-7997 / Fax 63-1727

<http://ava.or.jp/~shibuya>

市町村合併の前に広域行政を確立しよう。

国は、市町村合併したほうが行政効率がいと平成の大合併を推進しています。福島県矢祭町は「市町村合併をしない」宣言をしました。その理由として、①国のための合併である、②必要性がない、③合併の影響として地域間格差で過疎化が進むの3つをあげています。

私は、地方分権を担う財政力のある自治体を作るという名目で、

国の財政悪化を市町村合併で解決するのは、地方分権を否定するものと考えます。

交通網の整備、インターネット網の推進で、広域でおこなうべき事業はたくさんあります。地球環境を守るには、川の流域ごとの環境計画が必要です。また、住民は、小・中学校の範囲、日常的な買物の範囲、福祉サービスを利用しやすい範囲で生活に密着した課題には参加していくべきです。住民は、生活基盤である市町村の意思決定に参加しながら、広域で取り組むべき事業は、県、近隣市町村が連携して

実施すべきです。近隣市町村の連携事業の割合が多くなり、一体感を持つことができ、住民の生活基盤単位的意思決定への参加が保障される段階にきた時、市町村合併の議論は合理的です。

子どもが独立し、時間的・経済的に余裕のある世代は町づくりに関わることができます。が、子育て中の世代や、家族を持た

ない人は、意見表明するのさえ難しい現状です。女性や若い世代も、町づくりに参加できる制度を、広域行政と共に創って行きましょう。地方政治は、広域での取り組みと、生活の手の届く範囲での政治とを並列して進める時期です。

嵐山町でも、町づくりに住民参加の手法がとりいれられていますが、住民の位置付けがあいまいです。

住民の町政への参加の手続きを明確にして、子どもが大人になっても住み続けたい町を実現したいものです。

